

【ミッションステートメント】「いっしょに歩こう！プロジェクト」～日本聖公会東日本大震災被災者支援

- ① わたしたちは、東日本大震災により困難を負って生きる人々に敬意を払っていっしょに歩きます。
- ② わたしたちは、被災地の方々の生活と地域の再創造に向けていっしょに歩きます。
- ③ わたしたちは、主イエス・キリストが、共に歩いてくださることに励まされていっしょに歩きます。

2012年6月を迎え、聖霊降臨後の期節に入りました。再び釜石へのボランティアツアーの募集も始まり、本格的に様々なことが動き出そうとしています。今まで、動きの遅さと不透明さでやきもきされていたこととは思いますが、なるべくしっかりと広報に努めてまいります。どうぞ、これからもお力をお貸しください。

【釜石神愛教会・神愛幼児学園創立81周年記念礼拝】

釜石神愛教会・幼児学園では「釜石神愛教会・釜石神愛幼児学園創立81周年記念、教会・園舎改築、社会福祉法人設立感謝礼拝」が5月20日(日)に加藤主教の司式で行われました。北海道教区からは、教区を代表して震災支援室長の飯野正行司祭が出席されました。

『釜石神愛教会・幼児学園創立81周年記念礼拝に出席して』

室長 司祭 飯野正行

5月20日(日)「釜石神愛教会・釜石神愛幼児学園創立81周年記念、教会・園舎改築、社会福祉法人設立感謝礼拝」に出席させていただきました。前日の夜には市内のホテルで「会食会」が行われ、創設者藤村哲之・美代ご夫妻のご令嬢波岡雅子様を始め、理事関係者、所縁のある方々12名が集われ、会食をしつつ、自己紹介と今までの主の恵みの互いの語りに耳を傾けました。この中で、『藤村哲之についての覚え書』と数枚の写真という貴重な資料をいただきました。

翌日の記念礼拝は、加藤主教司式、小野司祭・金子執事・飯野司祭補式、海老原兄のサーバーで執り行われ、感謝・喜び・温かさに満ちた素晴らしい聖餐式でした。盛岡聖公会からは20数名の聖歌隊もバスで駆けつけてくださり、神愛教会の方々、幼児学園の先生・職員の方々と、総勢60名が礼拝とお祝いを共にいたしました。午後のお祝いの中での皆様の語りを通して、80年間の今までのご苦労と多くの方々の愛と神様の豊かなお働きとを覚えました。また高橋仁美現園長のご苦労とその働きの貴さも多くの方々が語っておられました。また、この神愛教会・幼児学園が如何に地域に根差した貴い存在であるかとい事も皆様のお話や振る舞いを通して感じた次第です。また、この温かく貴いお交わりを心から感謝いたしました。また、両日にわたる加藤主教様の細やかな配慮に深く感じ入りました。引き続き、釜石を覚えて祈りとご協力をお願いいたします。

【飯野先生と行く釜石ボランティアの旅】

長らく募集できませんでしたが、支援室の主催ツアーを再開いたします。今回は「飯野先生と行く釜石ボランティアの旅」が6月13日(水)～19日(火)の日程で行われます。今までのツアーより一日長く設定してあります。金曜日と月曜日に行われている仮設プログラムに両方関われるようになっていきます。詳細は26日発行の号外を参照してください。どうぞよろしく願いいたします。

【釜石での働き】

※ 震災支援室ブログ(海老原さん・向井さん発信)より抜粋

5月21日

午後は上中島仮設で体操プログラム。どうやら新プログラムも軌道に乗った感じです。人の集まりも増えてきているし、内容も固まってきました。これもこれもS先生の努力とお人柄の成せる技。デラックス感謝。

プログラムチェンジの効果があらわれてきました。足湯&お茶っこのときとメンバーが入れ替わってきて、定着しました。以前はメンバーが固定化されていた側面がありました。それがマンネリ化し、閉塞感につながっていましたが、内容を刷新することでいままでこれなかった人が来るようになり、新しいコミュニケーションが生まれています。ただ足湯の頃の常連さんが来なくなりました。これは戸別訪問等でカバーしていくしかありません。いまのところ不満のようなネガティブな反応はないと思われます。

それにしてもみなさんの真面目さには驚きます。怖いくらい真剣に取り組んでいます。高齢化率の高い上中島仮設で介護予防の色合いが濃い体操は、やはりニーズが高いことを実感します。S先生、サポートの小林さんご苦労さまでした。

5月25日

本日は談室プログラムの日。大畑と甲子の仮設に行ってきました。午前の大畑ではレインボーぐるぐる作り、午後の甲子ではお茶っこをしてきました。

私は一日センター業務。マルマル一日センターにいるのは本当に久々です。今日は常連さんが多かった日。また常連のみなさんが手土産持参で現れた日でもありました。サント菜・とんかつ・コーヒー・紙袋・物資・漬物・山菜の和え物、たくさんいただきました。感謝です。

知らない者同士がセンターで隣り合って座り、ともにコーヒーを飲み、数十分もすると互いに肩を叩き合って笑い合う。センターではこんな場面によく遭遇します。私の好きな光景です。今日もそんなことが起きました。嬉しいですね。

どうかセンターに祝福が与えられますように、そこで働く私たち、ボランティア、関係者に祝福がこれからも与えられますようにお祈りください

5月28日

本日はボランティアゼロデイ。寂しいです。誰かきてください。お願いします。ゴールデンウィークの喧騒が嘘のようです。

午前は私がセンター業務。今日も超常連さんがゆっくりしていきました。世間話に華を咲かせ、たまに怒られ、ときに爆笑して、ちょっと震災の話をして、愚痴をいい、私のお嫁さんの心配をし、そんないつものセンターでした。今日も新しい方がお訪ねくださいました。

今日の釜花は、どこかのお寺と思いきやご近所の釜ステこと「釜石ステーションホテル」の花壇。

午後は上中島仮設での体操プログラム。今日も超真剣に体操をしてきました。今日はボランティアがいないので私がフル参戦。高齢者向け体操といっても90分間まじめにやると疲れます。隣のおばあさんは私より身体が柔らかくてビックリ。よく観察するとみなさん柔らかい。たぶんみなさんはジャージなど動きやすい服、私はピチットしたジーパン。おそらくこの差でしょう。私の身体が固いとか、老化している訳ではないと思いますよ。そうに違いない。

【ボランティア登録についてのお願い】

北海道教区震災支援室では、釜石や仙台等でボランティアをする際に、「登録カード」による登録をお願いしています。ボランティア保険や、教区からの交通費の補助の把握に必要なためなど、いくつかの理由があります。また、ことにボランティア保険に関しては、掛けてもすぐに発効せず（翌日から）、いつでも掛けにいけないわけではないため、ある程度早めに「登録カード」を提出していただくことが必要です。また、ボランティア保険も自分で掛け、補助も必要ではないとしても、釜石支援センターの事務手続きが煩雑になってしまうため、必ず教区事務所に「登録カード」を提出していただけるようお願いいたします。なお、よほど緊急でない限り、**出発の1週間前までに登録をお願いいたします。**

【支援品提供のお願い】

釜石支援センターでは、センターで支援品の配布を行っています。その中で新たなニーズが出てきていますので、速報的にお伝えします。まず、1つは“大きめの鍋”です。新たに談話室のできた仮設で、談話室への備え付けのために、またサークル活動等で少し多めに料理する時のために“大きめ”の鍋が求められています。家庭用より少し大きいくらいのサイズのものがいいようです。（大きすぎても困る）2つ目は、これから梅雨を控えている東北地方では“除湿機”のニーズが高まっています。特に狭い仮設住宅では洗濯物の室内干しのスペースも取りづらく、仮設住宅内部に湿気がこもり、衛生面でも心配が出てきます。3つ目は“床屋さんのはさみセット”です。仮設住宅に入居されている方の中に、「元床屋さん」という方がおられ、中々床屋に行くことのできない方のために、散髪のボランティアを行いたいと考えていますが、道具がない状態です。もし、理髪・理容関係者の方で、道具を提供してもいいという方がおられましたら、ご一報くださいますと幸いです。

また、春～夏にかけての薄手の衣料のニーズも相変わらず高いようです。もし提供できる方がおりましたら、ハンドブック等でお知らせしている“支援品提供の手段”に沿って、ご提供ください。どうぞよろしくお願いいたします。

【いっしょに歩こう！プロジェクト】

「いっしょに歩こう！プロジェクト」の活動の様子は、月一度発行予定の「ニュースレター」や、「いっしょに歩こうプロジェクト！」ホームページ<http://nssk.org/walk>で、ご覧いただけます。

【支援室の活動】

インターネットで支援室ブログが見られます。毎日の釜石ベースの活動もアップされます。<http://nsskhokkaido.blog89.fc2.com> 又は、「日本聖公会北海道教区ホームページ」→「東日本大震災」→「震災支援室ブログ」の手順でご覧下さい。

【震災支援室より】

◎ 支援室ニュースは、各教会において掲示下さると共に、増刷して配布ください。支援室ニュースのバックナンバーは、日本聖公会北海道教区のホームページにでも見る事ができます。

◎ 教会や個人での取り組みについても、お知らせください。他の教会の活動の参考になります。

【連絡・問合せ先】 電話：011-561-0451、ファクス：011-736-8377

Eメールアドレス：saigai@nssk-hokkaido.jp

【釜石ベース】〒026-0031 釜石市鈴子町5-4 「聖公会 釜石被災者支援センター」

☎0193-55-4524、090-6999-7840

Eメールアドレス：nssk311@yahoo.co.jp